

和歌山県歯科衛生士専門学校 卒業式・入学式

2月28日(土)和歌山県歯科衛生士専門学校第43期生の卒業式が挙行されました。卒業生の皆さま、ご卒業誠にありがとうございます。

これまでの努力が実を結び、晴れやかな門出を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。今後は歯科衛生士として、それぞれの道でご活躍されることを期待するとともに、皆さまのさらなる飛躍を心よりお祈り申し上げます。



4月11日(土)和歌山県歯科衛生士専門学校第46期生の入学式が挙行されました。新入生の皆さま、ご入学誠にありがとうございます。希望と期待に満ちた表情で新たな一歩を踏み出されたこと、心よりお祝い申し上げます。これから始まる学びの日々の中で、歯科衛生士として必要な知識と技術をしっかりと身につけ、それぞれの夢や目標に向かって大きく成長されることを願っております。皆さまのこれからの歩みを心より応援しております。



パソコン演習

4月12日(日)県立情報交流センターBig・Uにて、パソコン演習を開催しました。参加者一人ひとりのニーズに応じて、パソコンやスマートフォンの操作について実践的に学びました。日常業務に役立つ内容も多く、参加者同士で教え合う姿も見られるなど、和やかな雰囲気の中で理解を深めることができました。

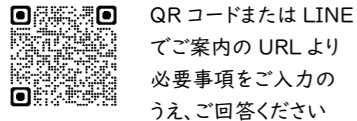


パソコンやスマートフォン操作、その他ご質問は、随時承っております。どうぞお気軽に、担当者までご連絡ください。

担当：林 糸津香

本会総会、学会、その他のご案内

和歌山県歯科衛生士会定期総会
5月24日(日)13時00分～
和歌山県歯科医師会館・WEB
「出欠連絡」全員ご回答ください



QRコードまたはLINE
でご案内のURLより
必要事項をご入力
のうえ、ご回答ください

関西障害者歯科臨床研究会
第18回研究集会
8月9日(日)
大阪歯科大学楠葉キャンパス講堂
大会長 大阪歯科大学小児歯科学講座
海原 康孝 主任教授



←詳細はこちらから
ご確認ください

日本咀嚼学会第37回学術大会
9月19日(土)～20日(日)
盛岡市民文化ホール
大会長 岩手医科大学歯学部
有義義歯・口腔リハビリテーション学分野
小林 琢也 教授



←詳細はこちらから
ご確認ください

日本歯科衛生学会第21回学術大会
9月20日(日)～21日(月・祝)
RaiBoC レイボック Hall ホール
新たな時代を担う歯科衛生士の未来
—歯科衛生士の地位向上を目指して—
大会長 埼玉県歯科衛生士会
吉岡 典子 会長

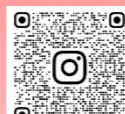


健康コラムについて

和歌山県では、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を目標に、さまざまな健康づくりの取組が推進されています。この一環として発信されている「健康コラム」では、健康に関する正しい情報や最新の知見がわかりやすく紹介されています。皆様におかれましても、日々の保健指導や地域活動の参考としてご活用いただくとともに、ご自身の健康づくりにもぜひお役立てください。



掲載しきれなかった内容や写真は、本会公式 Instagram・Facebookにてご紹介しております。ぜひ QR コードよりご覧ください。



Instagram

Facebook



和歯衛だより

発行：一般社団法人和歌山県歯科衛生士会
広報：岩室 紘子・林 糸津香
事務局：〒640-8287 和歌山市築港1丁目4-7
和歌山県歯科医師会館内
電話：090-9510-2856

新年度挨拶

新年度を迎えるにあたり、日頃より本会活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。近年、災害支援や学校歯科の現場においては、予防を軸とした行動変容を促す関わりが、より一層重要となっています。また、デジタル機器の活用により、歯科医療の質の向上に加え、歯科衛生士によるカウンセリングの幅も大きく広がり、患者さんの「残存機能を引き出す」支援が可能となりました。さらに、口腔のみならず全身状態を踏まえた対応が求められる中で、歯科衛生士には医科の知識に加え、これまで以上に「問診力」や「観察力」といった「臨床力」が必要とされています。今後は、お互いを尊重しながら連携を深め、信頼関係を築くために必要な学びを共有し、チーム力の向上に努めてまいります。そして、会員の皆さまがより一層輝き、働きやすい環境づくりに取り組んでまいります。

今年度も
よろしくお願
いたします
執行部一同より



理事 神屋敷 久美 理事 中田 律子 理事 沖井 泉穂 理事 森川 千尋

顧問 小室 恵子 理事 西谷 敬子

監事 吉田 俊香 専務 得津 康子 副会長 林 糸津香 会長 野村 カオル 副会長 稲垣 厚子 監事 山下 千穂

野村 カオル

歯科衛生士業務功労者厚生労働大臣表彰受賞

歯科衛生士業務功労者厚生労働大臣表彰は、永年にわたり歯科衛生士業務を通じて社会に貢献し、顕著な功績があった方を表彰するもので、歯科保健医療行政の推進に寄与することを目的として実施されています。このたび、全国で51名の方が受賞者として決定しました。表彰式は、2月22日(日)に東京国際フォーラムで開催された日本歯科衛生士会創立75周年記念式典において執り行われました。本会からは田中 旬子さんが受賞されましたので、受賞者のお言葉を頂戴しました。

日本歯科衛生士会創立75周年記念式典において、名誉ある表彰を賜り、誠に光栄に存じます。ご推薦いただきました和歌山県歯科衛生士会並びに、これまでご支援・ご指導を賜りました関係者の皆様へ心より御礼申し上げます。

歯科口腔外科を専門とした職場に勤めて、早いもので8年になろうとしています。和歌山県立医科大学在籍時の経験を生かしながら、日々の業務に向き合っています。患者さんから「田中さん」と名前を呼んでいただくことも増え、地域に密着した医療に関わることができていることに喜びを感じています。

年齢を重ねる中で、これまで学んできたことや経験から得た知識の大切さを実感する一方、新しいことを身につける難しさや、体力・根気の衰えを感じることもあります。これからは、若い世代へどのように経験や思いを引き継いでいくかを課題としながら、少しずつでも新しいことにも挑戦していきたいと考えています。

田中 旬子

